ENERGY POST E1500

エネルギーポスト
E1500 エントランス用施工説明書

このマニュアルは、エネルギーポスト E1500（エントランス用）の施工手順を示したものです。水栓やコンセントをオプションとして組み込んでいる場合は、同梱の別冊マニュアル「エネルギーユニット組立説明書」をご覧ください.

施工店様へのお願い

■ はじめに

●製品の施工につきましては、必ずこの説明書に従ってください。
●本施工説明書および取扱い説明書は、施工後必ずお施主様へお渡しください。
●この説明書は、大切に保管いただき、永くお役立てください。
●製品の引き渡し時には、施主様に使用方法・使用上の注意・手入れの方法等の説明を十分に行ってください。また、ダイヤル錠番号のシールは確実にお客様にお渡し下さい。

目　次

(2011/4/19)

■ 同梱品の確認

●付属品小箱の中に、同梱品チェックリストが収められています。開梱後直ちに、同梱品とチェックリストの照合を行ってください。

●欠品がある場合は、チェックリスト記載の連絡先まで至急、お知らせください。
一般的なお問い合せは：ナカシマプロペラ（株）イオス開発グループ TEL086-279-5115

■ 設置上のご注意

●当商品は寒冷地仕様ではありません。

●設置場所に製品が収まるかを高さ方向を含めて、施工前に必ず確認してください。

●施工範囲内に、他の配管（電気・水道・ガス）が埋込まれていないことを確認して下さい。

●ガス給湯器等の排気が直接当たる所には設置しないでください。

●本体には電装部品が組み込まれていますので、梱包を屋外に放置しないでください。

■ 施工上のご注意

●商品の施工につきましては、必ず本説明書に従って施工してください。

●製品の改造・変更は絶対にしないでください。

●照明、インターホン等の電気工事および地中の配線工事は、必ず電気工事店にご依頼ください。その際、本商品の施工をされる方と十分打ち合わせの上で、工事を行ってください。

●本体に電源スイッチはありません。必ず屋内にスイッチを用意してください。

●設置場所の地下埋設物の有無を確認し、それらを破損しないように注意してください。

●基礎はかならず基準どおりに工事してください。

●施工時に、本体に物をぶつけたり、傷を付けたりしないように十分注意してください。

●モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生促進の作用がありますので使用を避けてください。または塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウムの入っていないものを使用してください。

●施工時に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに拭き取ってください。

●施工完了後、ねじ類のゆるみ・脱落がないように再度点検してください。

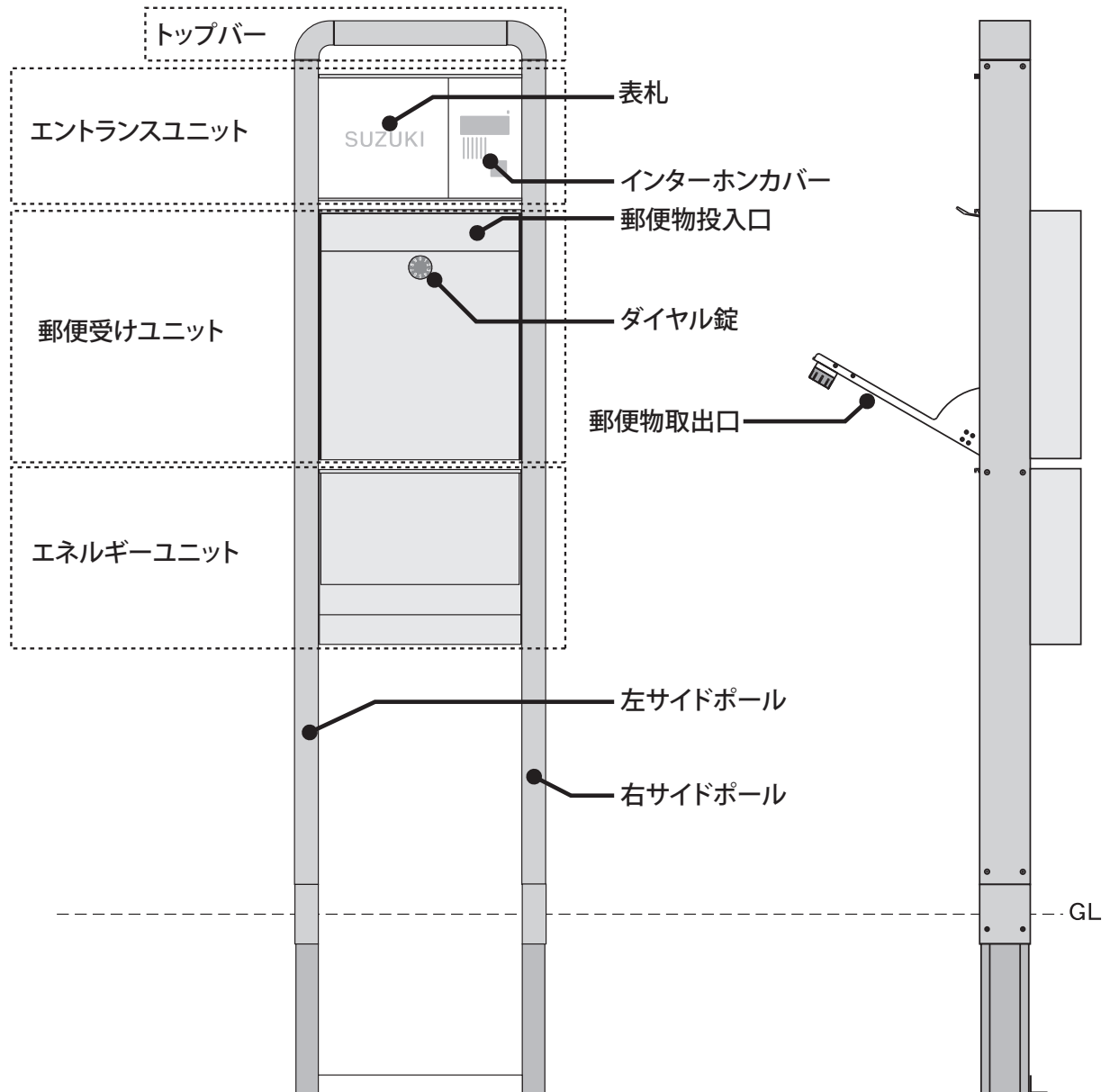
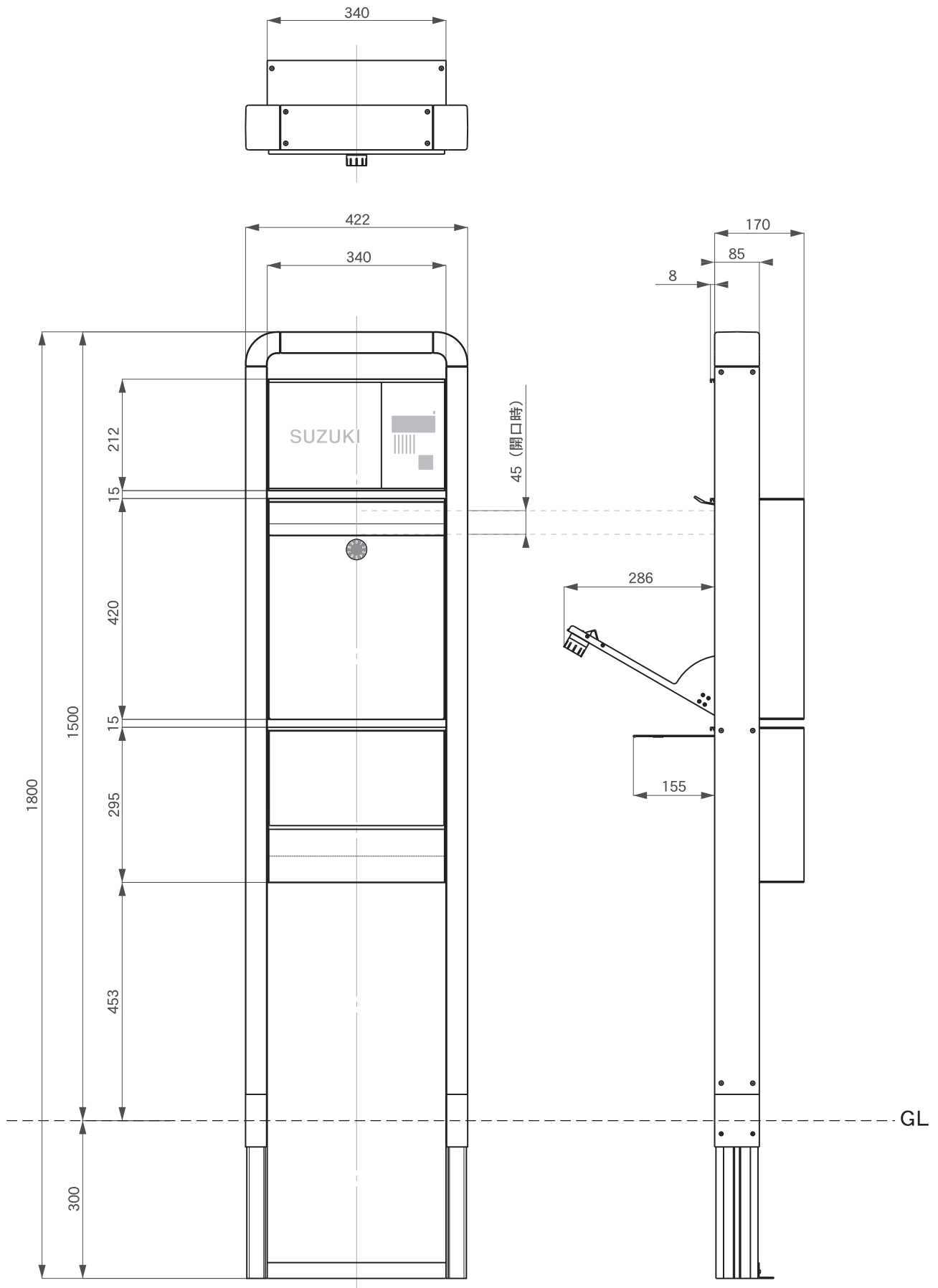
●施工完了後、照明・インターホン・ダイヤル錠等の作動確認を必ず行い、不具合がないことを確認してください。

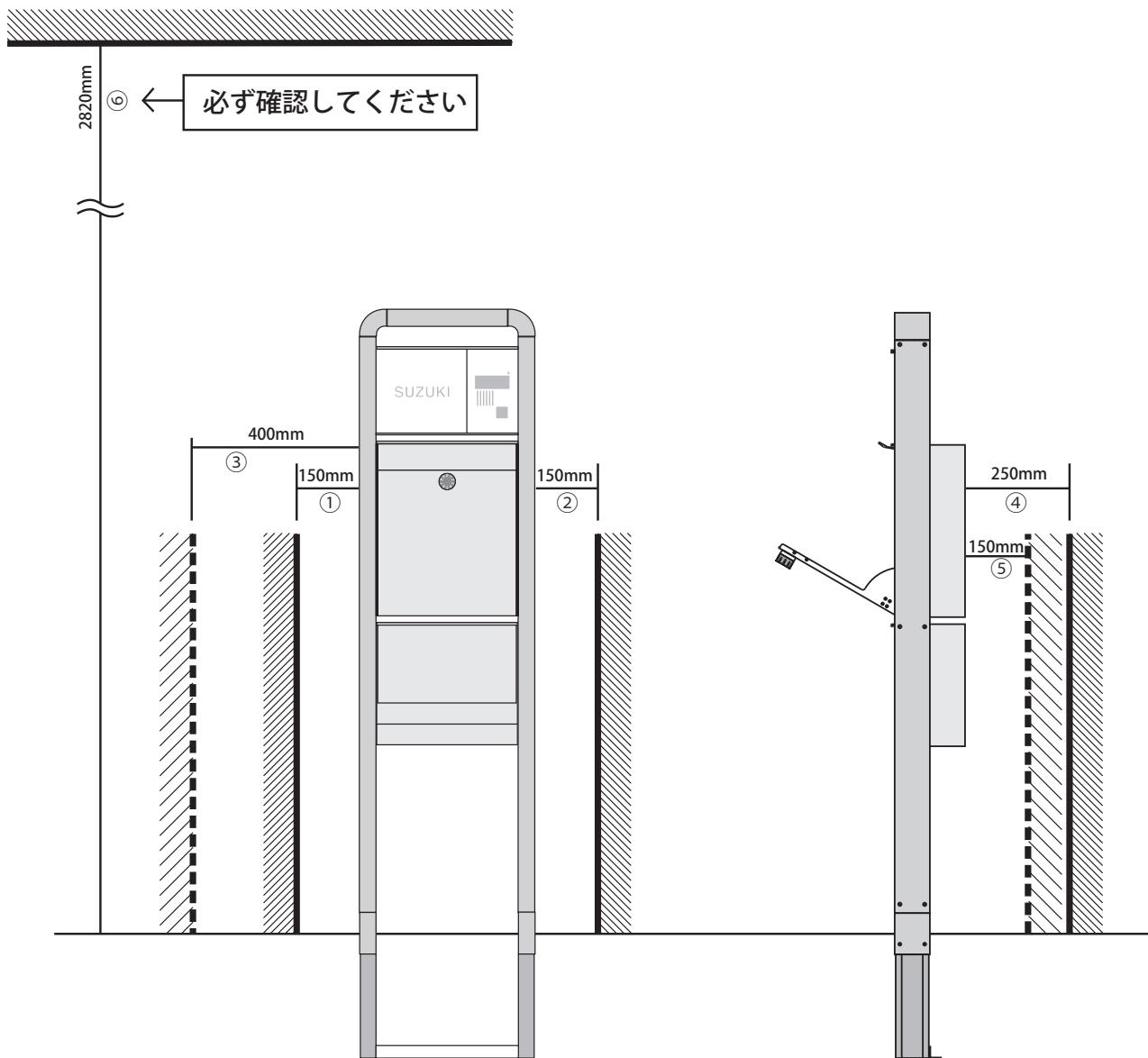
●混合栓、淡水栓を破損し代替品を手配する時には、必ず御購入店経由にてナカシマプロペラに手配願います。エネルギーポストに同梱されている淡水栓、混合栓はエネルギーポスト専用仕様となっており、一般には流通しておりません。

■ 各部の名称

トップバー
エントランスユニット
SUZUKI
表札
インターホンカバー
郵便物投入口
郵便受けユニット
ダイヤル錠
郵便物取出口
エネルギーユニット
左サイドポール
右サイドポール
GL

■ 各部の寸法

340
422
340
SUZUKI
212
15
420
15
295
453
1500
1800
300
45（開口時）
170
85
8
286
155
GL

■ 施工前の準備と確認

1　設置場所について

①②：左右サイドポール内の電気配線、給水給湯管配管のため、150mm あけてください。給水・給湯配管を使用しない場合は向かって右側の②は 50mm で十分です。

③：　背面に壁がある場合は、背面にアクセスするため左右いずれか一方に 400mm の空間が必要です。

④：　背面側からエネルギーユニット内配線・配管作業をおこなうため、ポスト背後に 250mm の空間をご用意ください。

⑤：　水栓を内蔵しない場合には、壁までの距離は 150mm で十分です。

⑥：　サイドポールカバーを上にスライドして取り外すため、ポスト上部設置場所の天井は 2820mm の高さが必要です。（P.7「各部の分解・組立について」参照）

※埋め込み施工については、P.9 の図を参照してください.

2 適合電気配線と PF 管

内蔵機器等	定格	電線	PF 管	備考
EV 200V コンセント	250V/20A	VVF 2.0-3C	呼径 16（外径φ 23）	EV 用コンセントは、どちらか 1 台のみ内蔵可能です。
EV 100V コンセント	125V/15A			
通常 100V2 口コンセント	125V/15A	VVF 1.6-3C	呼径 16（外径φ 23）	100V2 口コンセント用の電源線と、LED 用の電源線は同一の PF 管にて入線してください。 足元灯・表札バックライトのうち 1 個のみ使用した場合の消費電力は 0.73W です。
LED 足元灯・表札バックライト	1.45W(100V)	VVF 1.6-2C		
インターホン子機	-	信号線	呼径 16（外径φ 23）以下	
本体アース	-	アース線	-	

■ご注意■

EV コンセント用電源、100V コンセント用電源、LED 足元灯用電源は、それぞれ別の配線でおこなってください。

EV コンセント、および 100V コンセントには必ず漏電ブレーカーを設置してください。

インターホン子機は付属していません。別途お買い求めください。また、子機の信号線は、インターホンの施工基準に適合したものを別途ご用意ください。

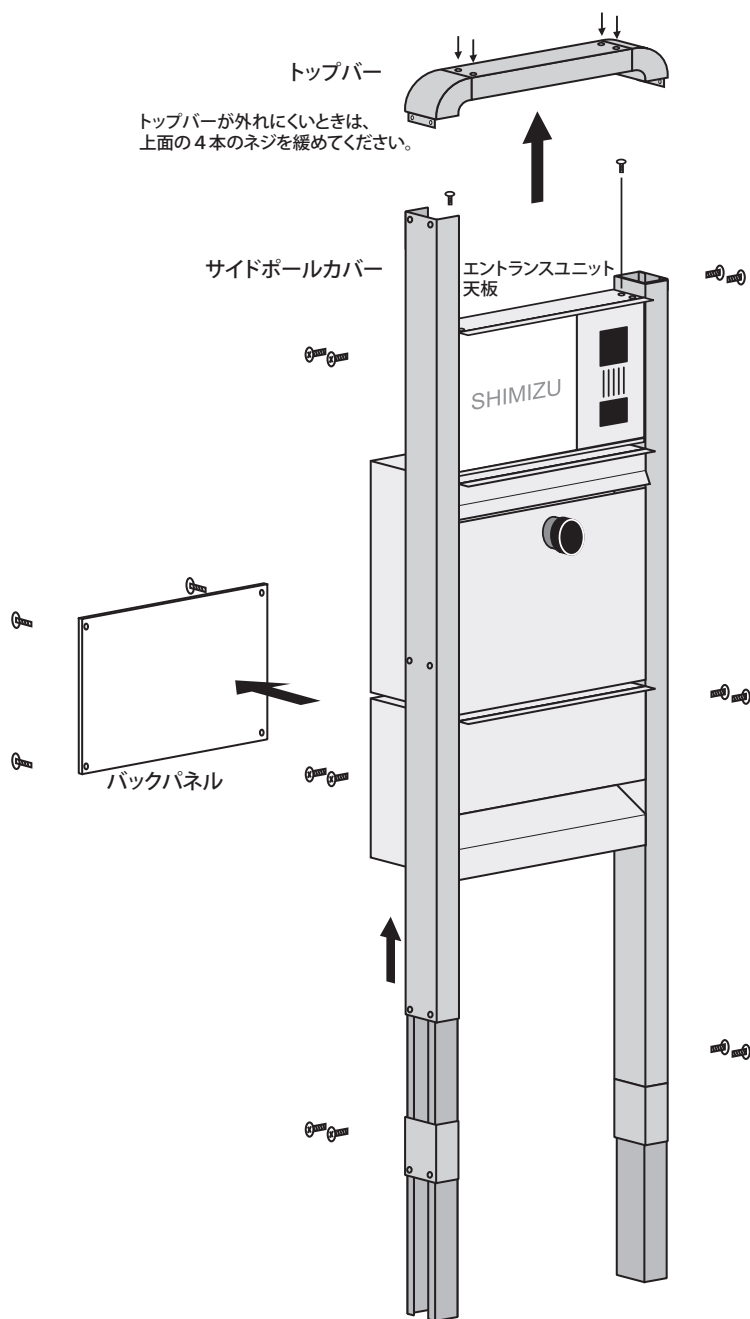
コンセント用のアース線以外に本体アースを取って下さい。アース線、アース棒は付属しておりませんので、別途ご用意ください。

PF 管の埋め込み、本体への挿入などは、P.9「基礎工事と配管準備」をご参照ください。

3 給水・給湯配管について

給水・給湯管については、本体側ブレードフレキ管に土中で接続することになります。管の準備につきましては、P.9「基礎工事と配管準備」をご参照ください。

なお、フレキ管のネジの使用は G1/2 になっていますので、必要なアダプタなどをご用意ください。

4 各部の分解・組立について

■バックパネル

バックパネルは、バックパネルを固定している４本のネジを緩めて取り外してください。

■サイドポールカバー

まず、左右サイドポールカバー上部の４本のネジをはずして、トップバーを上に引き抜いてください。サイドポールカバー中央部の２本のネジと下部の２本のネジをはずすと、サイドポールカバーを上に引き抜くことができます。

■エントランスユニット天板

表札、インターホンカバーの取付や交換時には、天板を固定する４本のネジのうち、後ろ側の２本のネジを緩めて天板をすこし持ち上げてください。※天板を取り外してしまうと子機カバーや表札が簡単に落ちてしまいます。

■ 施工手順

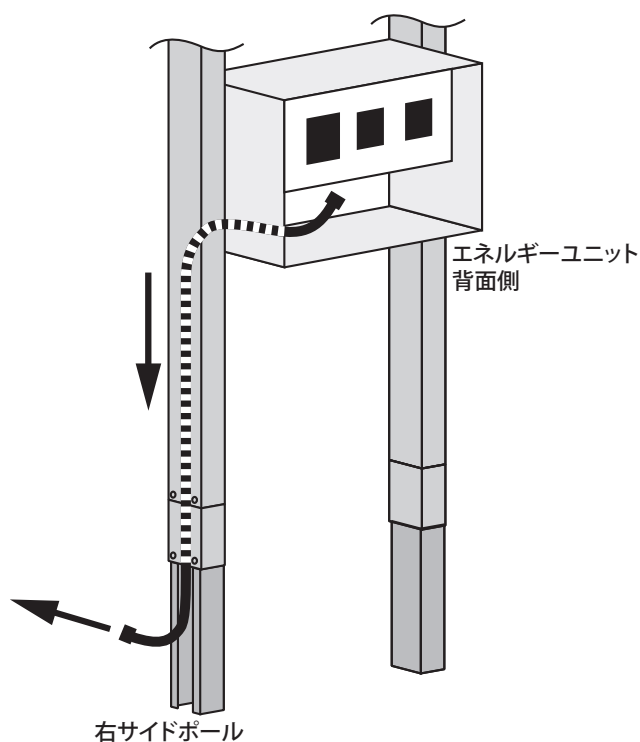
1　エネルギーユニットの組立

エネルギーユニットに、電源コンセント、水栓などのオプション品を組み込みます。別冊の「エネルギーユニット組立説明書」をご参照ください。

2　給水、給湯管の取付け

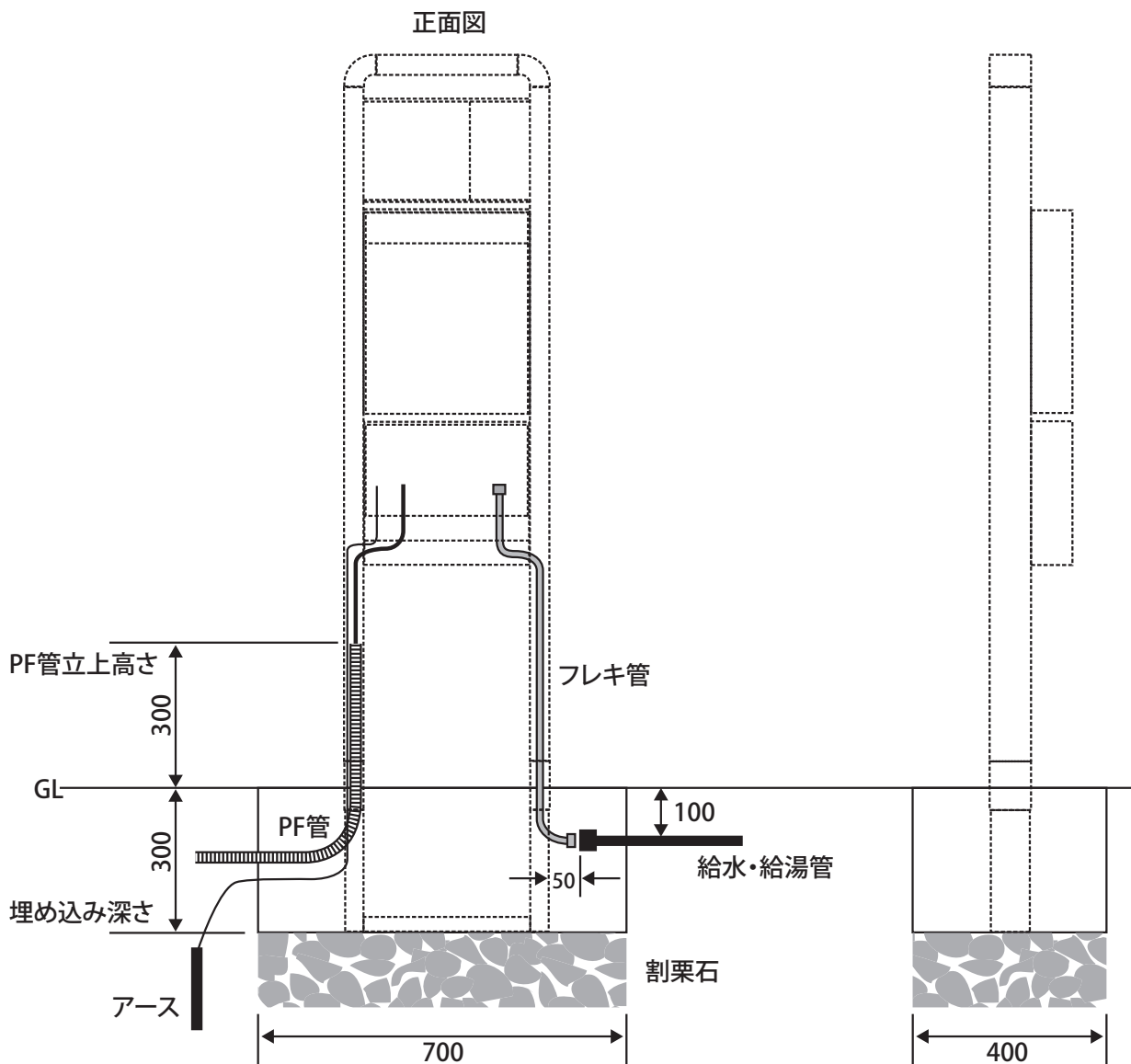
エネルギーユニット背面側からフレキ管を右サイドポール（背面側から見ると左側のサイドポールです）に差し込み、サイドポール下端よりフレキ管の先端がのぞくまで管を挿入してください。

フレキ管の上端を水栓のネジにしめつけてください。このとき、シールテープなどで必要な処理をしてください。（シールテープは付属していませんので、別途ご用意ください。）

断熱処理が必要な場合は、断熱テープをフレキ管に巻いてください。断熱テープは付属しておりませんので、別途ご用意ください。サイドポール内部のフレキ管に断熱テープを巻き付けるには、サイドポールカバーを取り外してください。サイドポールカバーの取り外しについては、P.7「各部の分解・組立について」をご参照ください。

3 基礎工事と配管準備

PF 管は、ポスト左側のサイドポールに挿入します。ポスト設置位置の左側に PF 管の端がくるようにしてください。なお、PF 管は GL より 300mm の高さに立ち上げてください。

給水・給湯管はポスト右側の地中でフレキ管に接続します。ポスト右側 GL 下 100mm で、サイドポール端面から 50mm 以内の位置に給水・給湯管の端がくるように準備してください。

なお、ポストの埋め込み深さは 300mm です。コンクリート基礎の穴の大きさは下図を参照してください。

注意 本体アースをかならず施工してください。アース線は、左サイドポールの中を通ってエネルギーユニット内部のアース端子に接続されます。

4 埋め込み作業

【注意】前ページ（P.9）の図を参照してください。

・左サイドポール（電気配線）

PF 管、アース線を左サイドポール下部より挿入し、配線をサイドポールの穴からエネルギーユニット内部にとおしてください。この作業には、サイドポールカバーを取り外す必要があります。（P.7「各部の分解・組立について」を参照してください）

・右サイドポール（給水・給湯管）

給水・給湯管を右サイドポール下部から出ているフレキ管に接続してください。地中に埋まる接合部は、防食テープで処理してください。

電源線の導通および給水･給湯管の水漏れを確認後、エネルギーボックスバックパネル、サイドポールカバーを元の位置に取り付けて、埋め戻しをおこなってポスト本体を固定してください。

5 電気配線作業

・コンセント用電源

EV200V（EV100V）コンセント用電源線および通常 100V コンセント用電源線はそれぞれ、コンセントの背面側から各端子に差し込んでください。

・足元灯、明暗センサーの配線

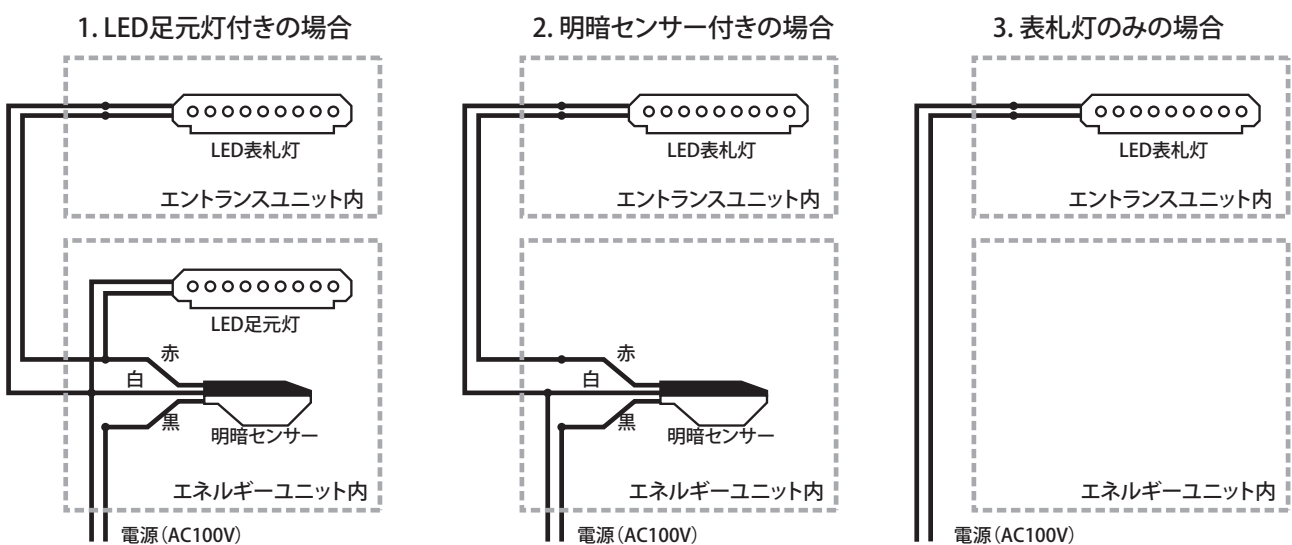
足元灯付きの場合は、電源線をエネルギーユニット内の明暗センサーに接続し、そこから LED 足元灯と表札灯に分岐してください。

また、オプションで明暗センサー付きを選んだ場合も、いったん電源をエネルギーユニット内部の明暗センサーに接続した後、エントランスユニットの表札灯に接続してください。

明暗センサーも足元灯もつかない場合は、電源線を直接エントランスユニットにのばして、表札灯に接続してください。

1. LED足元灯付きの場合

2. 明暗センサー付きの場合

3. 表札灯のみの場合

6 インターホンカバーの取付け

注意

ここでは、インターホン子機とその台座（インターホン子機に付属しているもの）の取付や取り外しの作業が発生します。これらの作業につきましては、インターホン子機の取扱説明書をご参照ください。

●インターホン子機より、インターホン子機の台座を取り外してください。（台座の取り外し方は、インターホン子機の取扱説明書をご参照下さい。）

●インターホンカバーにネジ止めされている子機取付金具を取り外し、金具に付属のネジ（M4 ネジ）で、インターホン子機の台座を固定してください。【図１】

【図１】台座の取付け

●インターホン子機の取扱説明書に従って、インターホン信号線を子機に接続してください。このとき必要に応じて、信号線を台座の中を通しておいてください。

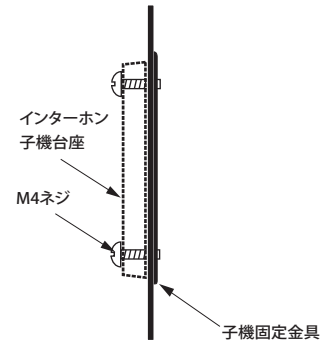
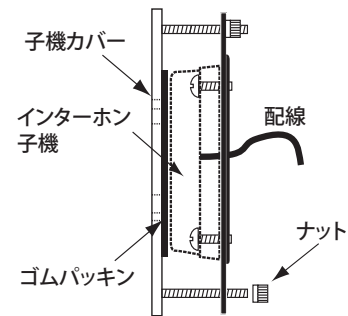
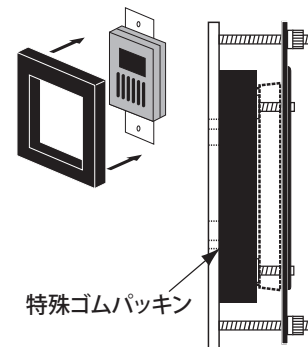
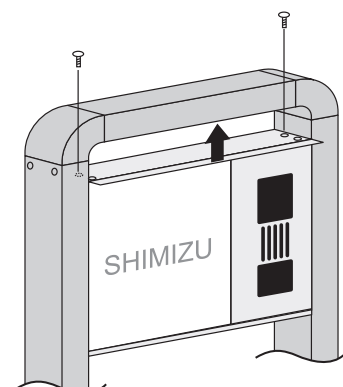
【図２】通常パッキン

●インターホン子機本体の取扱説明書に従い、子機取付台座に子機を取り付けてください。

●取付金具をインターホンカバーの埋込ボルトに合わせナットを締めてください。（【図２】通常パッキン）

●図３のような特殊なゴムパッキン（厚みが 20mm くらいあるもの）の場合は、子機をゴムパッキンの中に先に押し込んだ後、子機カバーにとりつけてください。 （【図３】特殊パッキンの場合）

【図３】特殊パッキンの場合

●エントランスユニットの天板の４本のネジのうち、後ろ側に位置する２本のネジを緩めて、天板を持ち上げてください．子機を取付けたインターホンカバーを上下の溝の間に挟み込んで、天板をネジ止めしてください.

【図４】エントランスユニットへの組込み

7　表札の取付け

エントランスユニットの天板の４本のネジのうち、後ろ側に位置する２本のネジを緩めて、天板を持ち上げてください。子機を取付けたインターホンカバーを上下の溝の間に挟み込んで、天板をネジ止めしてください。

（P.11【図 4】エントランスユニットへの組込みを参照してください。）

8　ダイヤル錠の確認

ダイヤル錠の番号が記載されているシールを見て、その番号で開錠出来ることを確認してください。また、施錠も問題なく行えることを確認してください。（ダイヤル錠の操作については、取扱説明書をご参照ください。）

注意

ダイヤル錠は施工終了後は、**確実に施錠した状態にしてください**。
解錠の状態のままですと、大量の郵便物が投入された場合、郵便物取出口が開くことがあります。